



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2607 URL <https://www.fujioilholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 酒井 幹夫
 問合せ先責任者 (役職名) 連結グループリーダー (氏名) 永山 勝博 TEL 06-6459-0731
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	127,928	29.6	2,374	△42.3	3,376	△9.8	1,858	△47.4
2022年3月期第1四半期	98,679	19.4	4,118	△3.4	3,744	△1.6	3,535	25.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 17,885百万円 (102.9%) 2022年3月期第1四半期 8,813百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.62	—
2022年3月期第1四半期	41.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	475,605	214,095	43.2	2,389.23
2022年3月期	416,617	189,495	44.7	2,168.13

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 205,383百万円 2022年3月期 186,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	230,000	12.5	7,000	△11.5	6,700	△12.2	4,400	△26.9	51.19
通期	480,000	10.6	16,500	9.9	15,800	10.0	10,500	△8.7	122.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Fuji Oil International Inc.

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」
をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	87,569,383株	2022年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,607,258株	2022年3月期	1,607,211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	85,962,165株	2022年3月期1Q	85,957,187株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米での新型コロナウイルス感染症に対する政策変更や、感染状況の収まりによる経済の正常化が期待されたものの、エネルギー価格高騰やインフレの進行による消費回復の遅れや、政策金利の引き上げなどにより、引き続き先行き不透明な状況が続きました。日本においては、急激な円安や、調達コストの上昇に伴い消費者物価が上昇しております。

主原料であるパーム油の原材料価格につきましては、前期から継続する価格上昇に加え、ウクライナ情勢やインドネシアのパーム油輸出制限などにより、更なる価格高騰が見られました。一方、短期的にはインドネシアのパーム油輸出再開や労働人員回帰に伴う生産量回復への期待など価格調整の動きも見られますが、依然として市場価格は高い水準で推移しています。その他原材料についても、為替相場の円安基調や世界的な物流コストの上昇など調達コストが上昇しております。

当社グループにおいては、今期から2024年度までの3ヵ年の新中期経営計画「Reborn 2024」を策定しました。「事業基盤の強化」、「グローバル経営管理の強化」、「サステナビリティの深化」を基本方針として、販売価格の適正化による基礎収益力の復元や事業軸業績管理の強化、サステナブル調達による差別化を進めることで、企業価値向上への取り組みを進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

営業利益につきましては対前年同期で減益となっておりますが、経常利益においては為替差益の計上により減益幅は縮小しております。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に特別利益に計上した、シンガポールにおける固定資産売却益の剥落及びブラジルにおける還付税金の減少により減益となっております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2023年3月期 第1四半期連結累計期間	127,928	2,374	3,376	1,858
2022年3月期 第1四半期連結累計期間	98,679	4,118	3,744	3,535
前年同期比 増減 (前年同期比 増減率)	+29,249 (+29.6%)	△1,744 (△42.3%)	△367 (△9.8%)	△1,676 (△47.4%)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比 増減	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
植物性油脂	49,177	+20,139	+69.4%	1,614	△454	△22.0%
業務用チョコレート	47,897	+6,228	+14.9%	983	△151	△13.4%
乳化・発酵素材	22,534	+3,581	+18.9%	217	△447	△67.3%
大豆加工素材	8,318	△700	△7.8%	573	△547	△48.8%
連結消去・グループ管理費用	—	—	—	△1,014	△143	—
合計	127,928	+29,249	+29.6%	2,374	△1,744	△42.3%

(植物性油脂事業)

売上高は、主原料であるパーム油などの原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、北米における新工場の稼働により大幅な増収となりました。営業利益は、東南アジアでの堅調な販売が寄与したものの、北米新工場の稼働開始に伴う減価償却費などの固定費の増加等により減益となりました。

(業務用チョコレート事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。営業利益は、北米における人件費などの固定費の増加等により減益となりました。

(乳化・発酵素材事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇に加え、日本や中国でのマーガリンなどの販売数量の増加により増収となりました。営業利益は、原材料価格上昇による採算性の低下に加え、中国での新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンの影響等により減益となりました。

(大豆加工素材事業)

売上高は、日本での大豆たん白素材、機能剤の販売数量の減少に加え、前連結会計年度に中国の大豆たん白食品会社を譲渡したことにより減収となりました。営業利益は販売数量の減少等により減益となりました。

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について、重要な変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ589億87百万円増加し、4,756億5百万円となりました。中期経営計画「Reborn 2024」において、資本効率の向上と財務モニタリング強化により事業基盤の強化・再構築を進め、財務体質の改善に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期 第1四半期	増減
資産	流動資産	201,334	232,900	+31,566
	有形固定資産	140,628	156,525	+15,896
	無形固定資産	55,697	60,244	+4,547
	その他資産	18,958	25,935	+6,977
	資産	416,617	475,605	+58,987
負債	有利子負債	148,769	172,041	+23,271
	その他負債	78,352	89,468	+11,115
		負債	227,122	261,509
	純資産	189,495	214,095	+24,600

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、原材料価格の上昇に伴う運転資本の増加や、為替相場の変動により流動資産が増加しております。有形固定資産の増加は主に使用権資産の増加によるものです。また、その他資産の増加は主にOilseeds International, Ltd.の取得に伴う投資有価証券の増加69億84百万円によるものです。以上の結果、前連結会計年度末に比べ589億87百万円増加し、4,756億5百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、運転資本の増加に伴う有利子負債の増加や、為替相場の変動により、前連結会計年度末に比べ343億87百万円増加し、2,615億9百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、米ドル、ユーロ及びリアル等に対する円安による為替換算調整勘定の増加や、Fuji Oil International Inc.へのOilseeds International Ltd.及びFuji Vegetable Oil, Inc.株式の現物出資による資本剰余金35億60百万円の増加等により前連結会計年度末に比べ246億円増加し、2,140億95百万円となりました。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ221円10銭増加し、2,389円23銭となりました。自己資本比率は前連結会計年度末比1.5ポイント減少し、43.2%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当社グループは、財務規律を維持・向上するため、着実な利益成長とキャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮により、フリー・キャッシュ・フローを毎年100億円以上創出することを最優先事項としておりますが、原材料調達価格の上昇により、前第4四半期連結累計期間に続き当第1四半期連結累計期間は大幅な運転資本調達増となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期累計期間	2023年3月期 第1四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,158	△11,478	△14,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,517	△2,846	+1,671
フリー・キャッシュ・フロー	△1,359	△14,325	△12,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△859	15,506	+16,365
現金及び現金同等物	18,550	20,163	+1,613

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、114億78百万円の支出となりました。原材料価格の上昇等による運転資本の増加を主要因として、前第1四半期連結累計期間に比べ、146億37百万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、ブラジルにおける業務用チョコレート事業の第2工場建設、中国における乳化・発酵素材事業のクリーム新工場建設等による支出を主要因として、28億46百万円の支出となりました。有形固定資産の売却及び取得による収入の増加と支出の減少等により、前第1四半期連結累計期間に比べ、16億71百万円支出が減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、運転資本の増加を主要因とする外部資金調達の増加により、155億6百万円の収入となり、前第1四半期連結累計期間に比べ、163億65百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更ありません。今後の事業環境の変化に応じ、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,926	20,174
受取手形及び売掛金	81,121	83,882
商品及び製品	40,786	47,774
原材料及び貯蔵品	55,249	68,504
その他	8,468	12,780
貸倒引当金	△217	△215
流動資産合計	201,334	232,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,485	40,824
機械装置及び運搬具(純額)	58,137	60,420
土地	20,659	21,295
建設仮勘定	15,283	18,252
その他(純額)	7,061	15,732
有形固定資産合計	140,628	156,525
無形固定資産		
のれん	27,008	29,161
顧客関連資産	16,954	18,716
その他	11,734	12,366
無形固定資産合計	55,697	60,244
投資その他の資産		
投資有価証券	7,122	14,822
退職給付に係る資産	4,952	5,113
繰延税金資産	708	612
その他	6,110	5,337
貸倒引当金	△62	△63
投資その他の資産合計	18,831	25,823
固定資産合計	215,156	242,593
繰延資産		
社債発行費	126	112
繰延資産合計	126	112
資産合計	416,617	475,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,654	36,864
短期借入金	44,518	68,677
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,727	1,420
賞与引当金	2,588	3,418
役員賞与引当金	62	17
その他	11,290	16,034
流動負債合計	120,840	146,432
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	49,251	48,363
繰延税金負債	15,038	18,006
退職給付に係る負債	1,996	1,975
その他	4,995	11,731
固定負債合計	106,282	115,077
負債合計	227,122	261,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	11,945	15,494
利益剰余金	159,664	159,274
自己株式	△1,954	△1,954
株主資本合計	182,864	186,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,523	1,717
繰延ヘッジ損益	1,070	1,777
為替換算調整勘定	1,079	15,991
退職給付に係る調整累計額	△161	△127
その他の包括利益累計額合計	3,512	19,360
非支配株主持分	3,117	8,712
純資産合計	189,495	214,095
負債純資産合計	416,617	475,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	98,679	127,928
売上原価	82,112	111,276
売上総利益	16,566	16,651
販売費及び一般管理費	12,448	14,277
営業利益	4,118	2,374
営業外収益		
受取利息	293	135
受取配当金	40	39
為替差益	—	826
持分法による投資利益	—	151
デリバティブ評価益	6	—
その他	149	479
営業外収益合計	490	1,633
営業外費用		
支払利息	231	362
為替差損	373	—
持分法による投資損失	16	—
その他	243	268
営業外費用合計	864	630
経常利益	3,744	3,376
特別利益		
固定資産売却益	735	31
還付税金	744	142
特別利益合計	1,480	173
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	111	112
特別損失合計	112	112
税金等調整前四半期純利益	5,111	3,438
法人税、住民税及び事業税	1,528	1,307
法人税等調整額	37	253
法人税等合計	1,565	1,561
四半期純利益	3,545	1,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,535	1,858

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,545	1,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	194
繰延ヘッジ損益	△247	706
為替換算調整勘定	5,411	14,936
退職給付に係る調整額	28	34
持分法適用会社に対する持分相当額	81	137
その他の包括利益合計	5,267	16,008
四半期包括利益	8,813	17,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,802	17,705
非支配株主に係る四半期包括利益	11	180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,111	3,438
減価償却費	3,654	4,141
のれん償却額	532	596
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△214	△160
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	33	△24
受取利息及び受取配当金	△334	△175
支払利息	231	362
持分法による投資損益 (△は益)	16	△151
固定資産処分損益 (△は益)	△623	80
売上債権の増減額 (△は増加)	1,803	1,968
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,708	△12,474
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,663	△6,467
その他	710	406
小計	5,549	△8,460
利息及び配当金の受取額	79	175
利息の支払額	△157	△446
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,313	△2,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,158	△11,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,837	△3,998
有形固定資産の売却による収入	742	1,622
無形固定資産の取得による支出	△420	△259
投資有価証券の取得による支出	△1	△290
その他	0	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,517	△2,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	347	13,992
長期借入れによる収入	1,870	5,394
長期借入金の返済による支出	△671	△1,466
配当金の支払額	△2,237	△2,237
非支配株主への配当金の支払額	△25	△13
その他	△142	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△859	15,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	315	1,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,902	2,449
現金及び現金同等物の期首残高	20,452	15,915
現物出資による子会社株式取得に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,550	20,163

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、Fuji Oil International Inc. を設立し、連結の範囲に含めております。Fuji Oil International Inc. は特定子会社に該当しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、重要な子会社を以下のとおり異動しております。

(1) 連結の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間において、Fuji Oil International Inc. を連結の範囲に含めたことに伴い、その傘下のOilseeds International, Ltd. についても連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の変更

当第1四半期連結会計期間において、Oilseeds International, Ltd. を連結の範囲に含めたことに伴い、その傘下のRITO Partnershipを持分法適用の範囲に含めております。また、K&FS PTE. LTD. は、重要性が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、当第1四半期連結会計期間より米国会計基準ASU第2016-02「リース」(以下「本基準」という。)を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについてリース資産(純額)及びリース債務として計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産のその他が7,884百万円、流動負債のその他が564百万円、固定負債のその他が6,301百万円それぞれ増加しております。なお、この影響による第1四半期連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下、「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用 チョコレート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,177	47,897	22,534	8,318	127,928	—	127,928
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6,199	544	1,406	32	8,184	△8,184	—
計	55,376	48,442	23,941	8,351	136,112	△8,184	127,928
セグメント利益	1,614	983	217	573	3,388	△1,014	2,374

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,014百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014百万円が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部のエリア統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Oilseeds International, Ltd.

事業の内容 食用油脂の製造販売

②企業結合を行った主な理由

当社グループは、北米の連結子会社であるFuji Specialties, Inc. (以下、「FSI」)傘下のFuji Vegetable Oil, Inc. (以下、「FVO」)及びFuji Oil New Orleans, LLCにおいて、パームやヤシ等の南方系油脂を原料として、食用油・食用加工油脂・チョコレート用油脂などの開発・製造・販売を行っております。今回取得したOilseeds International Ltd. (米国カリフォルニア州:以下、「OIL」)は、伊藤忠商事株式会社の連結子会社であるITOCHU International Inc. (以下、「III」)の100%出資会社で、プレミアム植物油(ひまわり油、米ぬか油等)の製造・販売に強みを持ちます。

当社グループがFSIとIIIにより新たに設立する合弁会社Fuji Oil International Inc. (以下、「FII」)を通じ、OILを保有することで、当社グループと伊藤忠グループ双方の強みを活かした販路拡大や新規顧客の開拓、コストメリットの創出等が期待され、アライアンスを通じて北米市場におけるプレゼンス拡大を図ってまいります。

③企業結合日

2022年5月1日(株式取得日)

④企業結合の法的形式

現物出資による合弁会社設立

⑤結合後企業名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 ー%

企業結合日に取得した議決権比率 80%

取得後の議決権比率 80%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるFSI及び伊藤忠商事の連結子会社であるIIIとで米国に合弁会社を設立し、IIIが保有するOIL株式と、FSIが保有するFVO株式を現物出資いたしました。現物出資後のFIIの出資持分比率が、FSI80%、III20%となり、OILの議決権の80%を保有したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2022年5月1日から2022年6月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現物出資により企業結合日に取得した株式の時価 63百万米ドル(8,679百万円)

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

87百万円

なお、上記の金額は、企業結合日以後、決算日までの期間が短く、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

②発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産の額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

なお、現時点で入手可能な合理的情報に基づき償却期間を算定しております。

不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2022年度（2023年3月期）

- 第1四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1 : 注記 / 為替情報
3	1-1 : 2022年度 連結業績 1Q
4	1-2 : 2022年度 連結業績 1Q（事業別・所在地別マトリクス）
5	2-1 : 主な指標
6	3-1 : 2022年度 連結業績予想

0-1 : 注記 / 為替情報

注記情報

・一部製品のセグメントの変更による遡及修正

2021年度より、一部製品を大豆加工素材セグメントから乳化・発酵素材セグメントへ組み替えています。
その為、2020年度の数値を参考値として遡及修正して表示しています。

主な為替レート

・P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

		2021年度	2021年度	2022年度	対前期比		2022年度 計画前提
		1Q	期末	1Q	差	増減率	
\$	P/L	109.49	112.38	129.57	+20.08	+18.3%	125.00
	B/S	110.58	122.39	136.68	+14.29	+11.7%	-
BRL	P/L	20.72	21.10	26.34	+5.62	+27.1%	19.52
	B/S	22.11	25.83	26.10	+0.27	+1.0%	-
€	P/L	131.96	130.56	138.12	+6.16	+4.7%	132.00
	B/S	131.58	136.70	142.67	+5.97	+4.4%	-
人民元	P/L	16.96	17.51	19.58	+2.62	+15.4%	17.17
	B/S	17.11	19.26	20.38	+1.12	+5.8%	-

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末（2021年度末）を比較

・2022年度1Qのブラマーに適用した為替レート(\$)は、P/L 119.91、B/S 128.65

1-1： 2022年度 連結業績 1Q

●業績概要

売上高 1,279億円（前年同期比+292億円）、営業利益 24億円（前年同期比▲17億円）

売上高：原材料価格の上昇に対応した販売価格改定及び為替円安の影響により292億円の増収になりました。
 営業利益：販売価格の改定を行い原材料価格上昇分はカバーしたものの、北米油脂工場の稼働に伴う経費の増加や連結調整の前期比悪化等により17億円の減収となりました。

（単位：億円）



	FY2021 1Q実績	FY2022 1Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(対前年同期比較)	
売上高	植物性油脂	290	492	+201	主原料であるパームなどの原材料価格の上昇に加え、北米新工場の稼働、為替円安の影響等により増収。
	業務用チョコレート	417	479	+62	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇及び為替円安の影響等により増収。
	乳化・発酵素材	190	225	+36	中国でのマーガリンの販売数量の増加、原材料価格上昇による販売価格改定により増収。
	大豆加工素材	90	83	▲7	中国大豆たん白食品事業の譲渡、日本での販売数量の減少により減収。
	合計	987	1,279	+292	
営業利益	植物性油脂	21	16	▲5	【△】東南アジアでの堅調な販売。 【▽】原材料価格上昇による採算性の低下、北米新工場の稼働に伴う経費の増加。
	業務用チョコレート	11	10	▲2	【△】欧州、オーストラリア、インドネシアでの販売数量の増加。 【▽】日本での流通菓子、冷菓向けの販売数量減少。
	乳化・発酵素材	7	2	▲4	【△】日本での大手パン向けフリリングや外食チェーン向けスポット需要の獲得。 【▽】東南アジア、中国での採算性の低下。
	大豆加工素材	11	6	▲5	【△】日本での大豆たん白食品の伸長。 【▽】日本での大豆たん白素材、機能剤の販売数量の減少により減収。
	グループ管理費用	▲9	▲10	▲1	
	合計	41	24	▲17	
営業利益率	4.2%	1.9%	▲2.3pt		
経常利益	37	34	▲4	営業外収益での為替差益計上。	
親会社株主に帰属する四半期純利益	35	19	▲17	前期計上のシンガポールにおける固定資産売却益の剥落及びブラジルにおける還付税金の特別利益の減少。	

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-2 : 2022年度 連結業績 (1Q/事業別・所在地別マトリクス)

(単位:百万円)

売上高	年度※	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2022 1Q	12,853	+3,284	18,892	+9,839	9,187	+4,476	902	+159	7,341	+2,382	49,177	+20,139
	FY2021 1Q	9,569	+1,236	9,053	+2,055	4,711	+1,139	743	+153	4,959	+2,139	29,037	+6,722
	FY2020 1Q	8,333	-	6,998	-	3,572	-	590	-	2,820	-	22,315	-
業務用チョコレート	FY2022 1Q	9,474	+567	32,108	+4,289	3,688	+1,015	1,015	▲141	1,611	+500	47,897	+6,228
	FY2021 1Q	8,907	+1,414	27,819	+3,412	2,673	+689	1,156	+350	1,111	+463	41,668	+6,328
	FY2020 1Q	7,493	-	24,407	-	1,984	-	806	-	648	-	35,340	-
乳化・発酵素材	FY2022 1Q	13,692	+1,281	-	-	3,782	+1,031	5,059	+1,270	-	-	22,534	+3,581
	FY2021 1Q	12,411	+433	-	-	2,751	+707	3,789	+1,181	-	-	18,953	+2,322
	FY2020 1Q	11,978	-	-	-	2,044	-	2,608	-	-	-	16,631	-
大豆加工素材	FY2022 1Q	8,056	▲446	-	-	-	-	262	▲254	-	-	8,318	▲700
	FY2021 1Q	8,502	+593	-	-	-	-	516	+47	-	-	9,019	+640
	FY2020 1Q	7,909	-	-	-	-	-	469	-	-	-	8,379	-
売上高計	FY2022 1Q	44,077	+4,686	51,000	+14,127	16,658	+6,522	7,239	+1,032	8,953	+2,882	127,928	+29,249
	FY2021 1Q	39,391	+3,676	36,873	+5,468	10,136	+2,534	6,207	+1,732	6,071	+2,603	98,679	+16,012
	FY2020 1Q	35,715	-	31,405	-	7,602	-	4,475	-	3,468	-	82,667	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益	年度※	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2022 1Q	619	▲229	150	▲410	957	+658	▲40	▲23	169	+20	▲242	▲469	-	-	1,614	▲454
	FY2021 1Q	848	+0	560	+50	299	▲247	▲17	▲41	149	+246	227	+227	-	-	2,069	+237
	FY2020 1Q	848	-	510	-	546	-	24	-	▲97	-	-	-	-	-	1,832	-
業務用チョコレート	FY2022 1Q	1,183	▲214	▲338	▲46	67	+52	▲75	▲55	117	+95	28	+16	-	-	983	▲151
	FY2021 1Q	1,397	+414	▲292	▲1,351	15	+50	▲20	+88	22	▲51	12	▲5	-	-	1,134	▲855
	FY2020 1Q	983	-	1,059	-	▲35	-	▲108	-	73	-	17	-	-	-	1,989	-
乳化・発酵素材	FY2022 1Q	477	+45	-	-	▲448	▲237	▲3	▲255	-	-	190	▲1	-	-	217	▲447
	FY2021 1Q	432	+559	-	-	▲211	▲123	252	+91	-	-	191	+50	-	-	664	+577
	FY2020 1Q	▲127	-	-	-	▲88	-	161	-	-	-	141	-	-	-	87	-
大豆加工素材	FY2022 1Q	553	▲511	-	-	-	-	49	▲49	▲59	+1	29	+12	-	-	573	▲547
	FY2021 1Q	1,064	▲63	-	-	-	-	98	▲115	▲60	▲35	17	+82	-	-	1,120	▲130
	FY2020 1Q	1,127	-	-	-	-	-	213	-	▲25	-	▲65	-	-	-	1,250	-
連結調整	FY2022 1Q	57	+18	▲3	+4	4	+5	10	▲8	▲153	▲185	72	+154	-	-	▲11	▲11
	FY2021 1Q	39	+16	▲7	▲4	▲1	+13	18	+21	32	▲19	▲82	▲29	-	-	-	-
	FY2020 1Q	23	-	▲3	-	▲14	-	▲3	-	51	-	▲53	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2022 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,002	▲132	▲1,002	▲132
	FY2021 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲870	+24	▲870	+24
	FY2020 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲894	-	▲894	-
営業利益計	FY2022 1Q	2,891	▲891	▲193	▲456	581	+479	▲58	▲389	75	▲68	79	▲287	▲1,002	▲132	2,374	▲1,744
	FY2021 1Q	3,782	+927	263	▲1,303	102	▲305	331	+43	143	+142	366	+326	▲870	+24	4,118	▲147
	FY2020 1Q	2,855	-	1,566	-	407	-	288	-	1	-	40	-	▲894	-	4,265	-

*2021年度から、大豆加工素材事業に含まれていた豆乳及びUSS豆乳製品を乳化・発酵素材事業に変更したため、2020年度実績を遡及修正して表示しています。

2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	2020	2021	2022(累計実績)				2022 予想
						1Q	2Q	3Q	4Q	
PL項目	営業利益	億円		179	150	24				165
	営業利益成長率	%		*2	▲16.2%	▲42.3%				+9.9%
	EBITDA	億円		343	324	71				349
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	208	173	57				200
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	118	127	34				138
	ROA	%	経常利益÷総資産	4.8%	3.7%	3.0%				3.7%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	7.0%	6.6%	3.8%				5.5%
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	3.0%	2.7%	1.5%				2.2%
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.01	1.12	1.15				1.19
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.2	2.2	2.3				2.2
	ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	4.3%	3.1%	1.7%				3.3%
	BS項目	総資産	億円		3,585	4,166	4,756			
有利子負債		億円		1,313	1,488	1,720				1,455
NET有利子負債		億円		1,108	1,328	1,519				1,305
NET運転資本		億円		697	805	865				882
自己資本比率		%		44.6%	44.7%	43.2%				45.6%
負債比率		%		122.2%	121.9%	127.3%				115.6%
のれん(広義)		億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、 その他無形固定資産等を含んだもの	466	499	586				541
のれん償却額		億円		21	22	6				21
のれん(広義)純資産比率		%		29%	26%	27%				26%
D/Eレシオ		倍	有利子負債÷自己資本	0.82	0.80	0.84				0.74
Net D/Eレシオ		倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金) ÷株主資本	0.63	0.73	0.82				0.69
CF項目		営業キャッシュフロー	億円		382	35	▲115			
	投資キャッシュフロー	億円		▲174	▲188	▲28				▲186
	フリーキャッシュフロー	億円		208	▲153	▲143				71
	財務キャッシュフロー	億円		▲199	94	155				▲80
	CCC	日		107	115	116				108

*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示しております。

*2 FY2020の営業利益成長率：FY2019が15か月決算のため非表示。

*3 FY2022.1QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

※補足：主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2022	日本 阪南事業所の設備更新等	20
1Q	米州 ハラルド第2工場建設等	11
	中国 クリーム工場建設等	6
	米州 プラマー設備投資等	5
	計	57

株主還元

株主還元方針

- ・配当性向30-40%
- ・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2014	13	17	30	27.6%
2015	17	18	35	32.6%
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022 予想	26	26	52	42.6%

3-1 : 2022年度 連結業績予想

2022年度上期は、売上高2,300億円、営業利益70億円、親会社株主に帰属する当期純利益44億円を計画。
 2022年度上期予想に対する第1四半期時点での進捗率は、売上高56%、営業利益34%、当期純利益42%となっています。
 通期計画の達成に向けて、引き続き販売価格の適正化、コスト削減、成長戦略の実行を進めます。

(単位：億円)

	FY2022 1Q 実績	FY2022 上期 業績予想	FY2022 上期 進捗率	FY2022 通期 業績予想	FY2022 通期 進捗率
売上高	1,279	2,300	56%	4,800	27%
営業利益	24	70	34%	165	14%
経常利益	34	67	50%	158	21%
親会社株主に帰属する 当期純利益	19	44	42%	105	18%